

『放送番組を活用するジャーナリズム教育の試み — 研究会メンバーによる公開授業』

放送番組を活用した授業を体験してみませんか。各講座内容は、現代社会や日本の歴史、戦争、出来事など、社会的記憶や事象などを考える上で、キーワードとなるテーマです。各分野のご専門の講師陣により、放送番組の視聴を通じての分かりやすいアプローチが展開されます。

放送ライブラリーに保存された放送番組を大学の教育、ジャーナリズム教育のために、どのように活用することができるのか。早稲田大学ジャーナリズム教育研究所(花田達朗所長)と放送ライブラリー(運営:放送番組センター)は、3年計画で共同研究を行っています。本年3月に共同研究の中間発表を行い、今回は研究会メンバー全員により、公開授業を開講致します。この公開授業を踏まえて更に各テーマの教材内容を高めていく計画です。大学生を対象に致しますが、大学の教員や研究者等にもご参加頂き、ご意見、ご要望などを参考にさせて頂きたく願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時：2011年11月18日(金) 19日(土) 20日(日)
- 会場：横浜情報文化センター7階大・小会議室など
- 主催：早稲田大学ジャーナリズム教育研究所・放送番組の森研究会
(財)放送番組センター・放送ライブラリー

授業日程 ※各日程の最初の授業の30分前から受付を開始します。

第1日 11月18日 (金)	14:40 ~ 14:50 (10分)	開講挨拶：花田達朗・「放送番組の森研究会」座長	7階小会議室
	14:50 ~ 16:20 (90分)	第1講：大石泰彦・青山学院大学法学部教授 『犯罪の樹』 犯罪に向き合うメディアの姿勢を見直す。	
	休憩 (10分)		
	16:30 ~ 18:00 (90分)	第2講：伊藤 守・早稲田大学教育・総合科学学術院教授 『失業の樹』 テレビ番組を通して失業という深刻な社会問題を考える。	
	休憩 (10分)		
第2日 11月19日 (土)	18:10 ~ 19:40 (90分)	第3講：野中章弘・アジアプレス代表、立教大学大学院特任教授 『アフガン・イラク戦争の樹』 現代の戦争報道を検証する。	7階大会議室
	10:20 ~ 10:30 (10分)	第2日目ガイダンス	
	10:30 ~ 12:00 (90分)	第4講：安藤裕子・早稲田大学非常勤講師 『ヒロシマ・ナガサキの樹』 “グローバルヒバクシャ”の視座の獲得とは。	
	昼休み (60分)		
	13:00 ~ 14:30 (90分)	第5講：烏谷昌幸・武蔵野大学政治経済学部専任講師 『原子力の樹』 福島原発検証番組を通してリテラシーを考える。	
第3日 11月20日 (日)	休憩 (10分)		10階研究者室
	14:40 ~ 16:10 (90分)	第6講：林 怡夙・仙台大学スポーツ情報メディア学科准教授 『華僑の樹』 中国と台湾の歴史からみる“華僑”を考察する。	
	休憩 (10分)		
	16:20 ~ 17:50 (90分)	第7講：花田達朗・早稲田大学教育・総合科学学術院教授 『沖縄返還密約の樹』 どのようにジャーナリズムは敗北したか。	
	10:20 ~ 10:30 (10分)	第3日目ガイダンス	
第3日 11月20日 (日)	10:30 ~ 12:00 (90分)	第8講：別府三奈子・日本大学法学部准教授 『ベトナム戦争の樹』 テレビ時代初の“お茶の間でみる戦争”を考える。	10階研究者室
	昼休み (60分)		
	13:00 ~ 14:30 (90分)	第9講：藤田真文・法政大学社会学部教授 『BC級戦犯の樹』 BC級戦犯たちの忘れられた事実と歴史を問う。	
	休憩 (10分)		
	14:40 ~ 16:10 (90分)	第10講：小林直毅・法政大学社会学部教授 『水俣の樹』 告発し、人間として問う「水俣」を見る。	
16:10 ~ 16:20 (10分)	終了挨拶：花田達朗・「放送番組の森研究会」座長		

- 受講対象者 大学生が対象となります。大学の教員、研究者等の方はオブザーバー参加ができます。受講は、3日間連続、又は1日単位となります。受講希望欄に受講を希望する日をご記入下さい。
- 応募方法 定員は40～50名で、定員になり次第締め切ります。お申込み方法は裏面をご参照下さい。

